

4月19日は「良いきゅうりの日」！ 西三河冬春きゅうり部会が西尾市・安城市へキュウリ寄贈、 一色南部小学校でキュウリ出前授業・ふれあい給食

西尾市・碧南市・安城市などのキュウリ生産者で組織する「西三河冬春きゅうり部会」は、「良いきゅうりの日」である4月19日、西尾市へキュウリを寄贈します（量は未定）。また同日、キュウリの若手生産者が一色南部小学校を訪れ、キュウリに関する出前授業を行います。その後の「ふれあい給食」では、児童とともにキュウリの丸かじりを楽しみます。

同日には安城市内でも、同地区のキュウリ生産者が市へキュウリを寄贈するとともに、小学校でのふれあい給食を行います。

■西尾市での開催予定■

（西尾市へのキュウリ寄贈）

【日時】4月19日（木）9:30～

【場所】西尾市役所 3階市長室

【部会側出席者】

西三河冬春きゅうり部会 副部会長 織田康彦

西三河冬春きゅうり部会 役員 平井優

以下、愛知県、JA西三河・JAあいち経済連の担当者

（一色南部小でのキュウリ出前授業・ふれあい給食）

【日時】4月19日（木）11:45～

【場所】一色南部小学校 しおさいの部屋

【参加児童】5年生・6年生

【部会側参加者】

キュウリ生産者 鈴木基矢 鈴木悟史 高須淳一

【スケジュール】

11:45 キュウリ出前授業

12:30 ふれあい給食

13:15頃 終了予定



キュウリ授業で若手生産者が児童に向けて説明



ふれあい給食ではキュウリの丸かじりが恒例

■4月19日は「良いきゅうりの日」！

4月下旬から5月上旬はちょうど冬春キュウリの生産量が一番多くなる時期です。この時期の消費拡大を狙い、西三河冬春きゅうり部会は、新鮮な「三河みどり」の消費PRにつなげようと平成20年、4月19日を『良いきゅうりの日』として全国記念日協会に登録しました。

これ以後毎年同部会では、西尾市や碧南・安城市への学校給食用のキュウリ寄贈や、小学校でのキュウリ出前授業、児童とのふれあい給食を行っています。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：岡田健太郎

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-4251

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

西三河のキュウリ生産の概要

～愛知県No.1のキュウリ産地！ 新鮮キュウリを県内へ～

■西三河のブランドキュウリ「三河みどり」■

西三河地区は愛知県のキュウリ生産の中心地です。露地栽培では夏にかけて栽培されるキュウリですが、愛知県では冬から春にかけて加温されたハウスの中で栽培を行う「冬春キュウリ」が主流。11月から6月上旬まで生産・出荷を行っています。

西尾市の冬春キュウリ生産者で組織する「JA西三河きゅうり部会」と、安城・碧南・高浜・刈谷・知立の5市のキュウリ生産者で組織する「JAあいち中央胡瓜生産部会」は、ともに共計共販組織「西三河冬春きゅうり部会」を組織し、「三河みどり」のブランド名でキュウリを販売しています。その出荷量は5,334ト（平成28年産）と、愛知県内で生産される冬春キュウリのおよそ半分を占めています。

「三河みどり」の特徴は何と言っても「新鮮さ」。主に愛知県内の市場向けに出荷しているため、消費者のもとへ届くまでの期間が短く、他産地よりも新鮮な状態で消費者のもとへ届きます。また生産者は、部会内でのノウハウの共有や、最新のICT機器を活用した厳密な栽培環境制御などに取り組み、より高品質なキュウリ生産につなげようと日々努力しています。



生産者が出荷されたキュウリは、JAの選果場で選別される

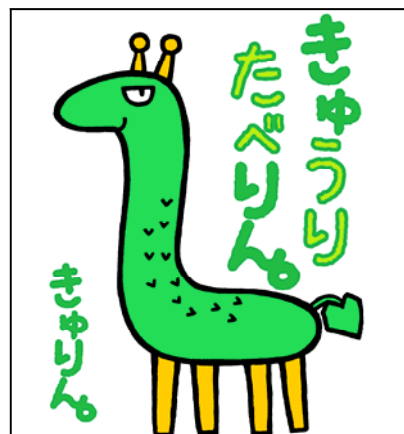


キュウリの栽培施設
真冬でも高温多湿の状態に保たれている

■部会キャラクター「きゅりん」大活躍中！

西三河冬春きゅうり部会では、自分たちのキュウリを積極的にPRしようと、若手生産者を中心にして部会キャラクター「きゅりん。」（写真左）を生み出しました。名前の由来は「きゅうりたべりん。（キュウリを食べましょう）」の三河弁から。

同部会が生産するキュウリ「三河みどり」の出荷袋や部員の名刺などに「きゅりん。」をデザインしているほか、Tシャツ・ポロシャツやシール、LINEスタンプも作成しました。地域のイベントに参加する際には部会員お手製の顔出しパネルを展示し、SNSでの写真の拡散を狙うなど、キャラクターを活用し、時代に対応したPR活動を行っています。



【組織情報】（部会員数・出荷量等は平成28年度）

名称：西三河冬春きゅうり部会

部会員数：95人（西尾市のJA西三河きゅうり部会、碧南・安城市中心のJAあいち中央胡瓜生産部会の2部会で構成）

出荷先：愛知県内（約60%）をメインに、東海・北陸地方

出荷量：5,334ト（愛知県の冬春キュウリ生産量の50%以上）

販売額：約147億円

（全国の生産概況）

全国のキュウリ出荷量：470,600ト（うち冬春キュウリ：274,000ト）

愛知県のキュウリ出荷量：11,800ト（うち冬春キュウリ：10,200ト）

データ：農林水産省HP 作物統計調査 作況調査（野菜）平成28年度野菜生産出荷統計確報

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001196823>